

2024年11月1日

埼玉県和光市において自動運転バスの 2期社会実証を行います！！ 実証期間中、無料にて試乗を実施いたします（先着事前予約制）

東武バス株式会社
東武バスウエスト株式会社

東武バスグループの東武バスウエスト株式会社（本社：埼玉県さいたま市、社長：金井応季）は、埼玉県和光市において、内閣府の未来技術社会実装事業に採択された自動運転サービス導入事業の運行事業者として参画しており、これまで自動運転バスの実証運行等を行ってまいりましたが、このたびは自動運転を行う区間を拡大したうえで、2024年11月15日（金）から12月13日（金）までの期間（平日のみ）にて、自動運転バスの2期社会実証を実施いたします。

埼玉県和光市では、同市の目指す将来像や地域課題である、「和光市駅から和光北インター周辺の拠点間を結ぶ新たな交通手段の確保」「移動における定時性の確保や急こう配地域における高齢者等の移動のしやすさ」「国道254号バイパス沿線の産業集積による交通手段の確保」等の達成や課題解決を目的として、東京外かく環状道路（外環）の側道部分を活用した自動運転サービスの導入を検討しており、2023年8月より「和光市駅北口～SGリアルティ和光」線の一部区間において、部分運転自動化（レベル2）の実証走行等を行っています。

今回の2期社会実証では、これまで実証を行っていた外環側道の外回りにあるバス専用車線に加え、新たに整備が完了した内回りの専用車線にも自動運転区間を拡大するとともに、専用車線だけでなく一般車線の一部区間においても自動運転を実施します。あわせて、道路上にある2ヶ所の照明柱に路側センサを設置のうえ、横断歩道内やその付近を通行する歩行者等を検出し、自動運転車両に通知する「路車協調システム」の実証を実施するほか、実証区間の途中に停留所を設置し、安全性や利便性の向上を図ってまいります。

自動運転バスの実証を進めることで、将来の交通課題の解決にも寄与してまいります。概要については、次ページをご覧ください。



実証に使用する自動運転バス車両

【このリリースに関するお問合せ先】

東武バス株式会社 経営企画部（総務担当） 森田・金子

☎03-3621-0102

自動運転バス 2 期社会実証の概要について

- (1) 事業主体 埼玉県和光市 「和光版 MaaS (マース)」 自動運転サービス導入事業
- (2) 運行事業所 東武バスウエスト株式会社 新座営業事務所
- (3) 実証路線 「和光市駅北口～SG リアルティ和光」 線
※途中に設置する停留所 (上下 6 ヶ所) は、実証運行車両のみ停車いたします。
「和光市駅北口～SG リアルティ和光」 線の一般路線バスは停車いたしません。
- (4) 実施期間 2024 年 11 月 15 日 (金) から 12 月 13 日 (金) の平日のみ (21 日間) 実施
- (5) 使用車両 日野自動車製の「ポンチョ」をベースに、自動運転に必要な機器類を搭載した車両を使用いたします。
- (6) 運行便数 1 日あたり 3 便 (和光市駅北口 11:55 発・13:30 発・14:20 発)
- (7) 試乗 実証期間中、**先着事前予約制**にて無料で自動運転バスに試乗いただけます。
・募集人数: 約 300 名 (各便 10 名) ※一部便は関係者用
・対象者: 小学生以上のお客様
・始終点のほか、途中停留所での乗り降りが可能です。
・定員に達し次第、募集を締め切ります。
・予約方法やその他の注意事項は、下記の和光市ホームページをご確認ください。
<https://www.city.wako.lg.jp/machizukuri/kotsu/1010340/1010047/1010241/index.html>
- (8) 実証区間

